

1、観光シーズン到来だが

法隆寺前は四月当初から賑わいが始まり、駐車場脇のソフト・クリーム屋さんも営業を開始した。人が居なかった自家用駐車場にも人が出て呼び込みをしている。

一方、五月になると新聞やポスターが「観光シーズン中、自家用車の市内乗入れを遠慮するように」との注意書きを何度も出した。

地方選挙が終わり新議員による議会が始まり、新聞はその報道に躍起だが、交通審議は難しいらしく、「詳しくはそれぞれの会合待ち」と歯応えがない。現状維持の行政では車両の侵入禁止を呼びかけるしかないのであろうか。

四月は新入生の時期でもある。幼稚園児の通園、小学一年生の安全通学に大きく回り道をさせねばならないのは、歩行者通路が整備されていないからである。怠慢！

それらの結果、観光交通は業者によって企画運営されたバス利用が中心。個人的な観光は自家用車をやめて公共機関を利用し、あとは歩け歩け！ ということになるのであろう。確かに歩いてよく見えるものがある。しかしながら、奈良県は広く観光資源は無数にあるのに、協力し合うのは苦手なのか「連絡その他で不満が多い」と報道されている。

2、王寺町はなぜ『王寺』というか

前号に記したように、会合のために二カ月振りに清水へ行った。その際、予想される質問に答えられるようにと図書館で下調べをして行ったのだが、その中から……

問い：斑鳩の隣り町である王寺町は、なぜ『王寺』というか？

答え：王子町本町二丁目にある方光寺は、飛鳥時代の聖徳太子ゆかりの片岡王寺であり、室町時代から王寺と呼ばれてきたため。大阪天王寺は聖徳太子ゆかりの四天王寺から名付けられているが、王寺は四天王寺の略ではない。

問い：斑鳩町にJR(旧国鉄)や近鉄の駅がないのはなぜか？

答え：不明。明治時代の人たちが、煙を吐いて進む汽車が、聖徳太子の故地を汚すのを嫌ったためという説があるが、真実は不明。結局、法隆寺駅は法隆寺の南1,5kmの興留(おきどめ)にあり、法隆寺までの『いざないの道』は、歩くか？公共バスを待つか？ それともタクシーか？ などと判断を迫られる。

近鉄には法隆寺駅はなく『筒井』か『王寺』などが最も近いとされるが、4kmほどもあって、最寄り駅にはならない。25号線が通って交通は激しいが、車を持たぬ人には不便。タクシーの数も少ないし、歩いて法隆寺は大変だヨ。

3、歴史の町を走る 『奈良マラソン2011』は如何か？

近年、市民マラソンが盛んになってきて、それぞれに特徴があるマラソンが開催されているが、「奈良マラソン2011」は如何か？ 2011,12,11 実施

5kmコースなら興福寺の周辺。10kmコースなら東大寺・春日大社周辺。フルマラソンならJR線に沿うように南下して天理で折返し、北上の際には『山の辺の道』を通る。

問合せ：奈良マラソンエントリーセンター TEL. 06-6305-6322

大会ホームページ <http://www.nara-marathon.jp/> 募集締切り 6月22日

4、 ニュウメンを食べました 《私は元来、味覚音痴なのでこの項は眉唾物です。》

「ニューメン」という名称は聞いたことがあっても、特別な思いは持っていなかったが、今回、これがニューメンと確認して初めて食べた報告である。

私が、通常考える『麺』とは「湯漬けのうどん」「ざる蕎麦」あるいは「夏の素麺」等である。子供のころの「夏の湯漬け」は禅寺の風物詩。いつもは香の物でも音を立てずに嘸めと厳しいのに、このときばかりはズウズウザアザアと台風並みに音をたててお代わりも自由。ただし、麺を飲込むのが主で、つけ汁やネギの薬味などは添え物程度だった。

「シナそば」は、冬の「秋葉山の祭典」の時に、誰かが御馳走してくれるもの。屋台の陰でフウフウ息を吐きながら立って食べた。「夜鳴き・チャルメラ」は憧れの食べ物。

関西の「うどん」を30円か35円で食べたのは高校生時代。小さな三角形の油揚げが乗っていればよいが「素うどん」は何もなし。「たぬき」「おかめ」「ニシン」などの関西風の麺を食する資金はなかった。「ニコヨン」って幾らなのかご存じかな？

「ざる蕎麦」を食べたのは大学生になってから。「江戸っ子は麺を下地に少し浸ける」などと妙に意気がって食したが、「天ざる」を食したのはもっとあとの話。

さて、改めて「ニューメン」だが、素麺という細い麺に料理人の配慮による汁物を纏わせて食べるもので、汁が主役。というのが私の感想である。私は今まで麺を食することばかり考えていたが、麺もさることながら、つゆに様々な配慮をし、味わって頂くことが大切であるらしい。如何でしょう味覚音痴の男の感想。

5、 奈良の食後のアイスクリーム

上記同様、私の味覚報告は全く信用できないことを前提にお読み頂きたい。

① 天平庵：東大寺店の「みかさソフト」300円

天平庵といえば、孫が怪我したときに寄った天理店が家内のお気に入りとなり、その後、西の京店にも行くようになった。東大寺店の「みかさ大和三山」(=ドラ焼き)は中々の物で、「売れ残しを翌日には売らない」と捨てたり、無料配布したりする店である。

「みかさ」とはアイスクリームに練り込まれたドラ焼きである。//www.tenpyoan.com/

② 旧鴻池邸表屋みやけの「黒蜜きなこパフェ」750円

大阪の豪商鴻池の邸宅を奈良に移築し、カフェとしてオープンしたところで売られている。自家製黒蜜と黄な粉をバニラアイスに練り込んであって。風情ある邸宅のお座敷で豪商を偲びつつ頂くと格別な味となる。//www.miyake-flagship.jp/

③ ティーテラス、プリエールの「バラのアイスクリーム」600円

関西有数のバラ園『霊山寺』で食べられるアイスクリーム。バラの香りを封じ込めたアイスの素材を、職人がバラの花の形に作り上げて提供する。手がかかるので注文して一時間は待たされる。//www.ryosenji.jp

我輩、甘いものが嫌いでは御座らぬが、戦中・戦後の体験が嗜好原点であり、チョコレート・コーヒーなどを常食しており申さず。スイーツ好みの友人も御座ったが、彼らに感化され申さず、本場イタリアのジェラード等を試みたことがあるものの、味は不知に候。

この項、いずれも我輩が試食してお勧めするものではなく、話題らしきものを記してみたのみ。場所等、詳しい情報はURLでどうぞ。なお、http:は省略して御座りまする。

6、斑鳩の美しさ

春の美しさを「春霞」とか「朧(おぼろ)」という言葉を使って表すことがある。我々が斑鳩に来た三月は、まさしくそうした季節であった。大和川から見る矢田丘陵。龍田川公園から見る信貴山や三室山。南に広がる大和平野など。桜の時期はことさらに少しぼんやりしているのが情緒的であると思っていた。

これが一変したのは「黄砂」である。もともと斑鳩は砂が多い所と承知していた。斑鳩小学校に行くとき絶えずお掃除をして砂を集めている子がいる。靴を入れるスチール箱にうっすらと砂がまとわり着いている。しかし、空がどんよりと曇って「黄砂で5km先が見通せません」と報道されるようになると大変である。清水でも黄砂は体験したが、その数倍の濃度であり「外出や叩けば埃の出る男」になってしまった。

小生、多少は日中友好にも努めてきたから「もっと植林しろ」とか、「損害賠償金を払え」などと一人で毒づくが、改めて中国の広さと「一衣帯水」を認識するしかない。

そんな中、台風1号がやって来た。「何とお早いお出ましで」と言っていたが、幸いに大粒の雨をザアアット数回やったぐらいで通過して行ってくれた。

驚いたのは台風通過後のことである。郡山からの帰り道。9号線を南下して法起寺にさしかかると、立派な三重塔が出迎えてくれたのである。もう何度も見慣れている塔だが、改めてスピンの美しさに感動。続いて法輪寺の三重塔・法隆寺の五重塔も見えて来たが、やはりとても美しい。遠くの山も輝いていて、これが本当の斑鳩の美しさだったのだ思われた。黄砂は御免蒙りたい。

7、タケノコ山がツツジ山

タケノコといえは何と言っても鳥坂だった。三月下旬に天候をみて試掘。4月10日の大日如来祭にはご参詣の皆さんに食べて頂くのだが、味の良さは評判であった。

ここ関西でタケノコというと京都の八幡が有名だが、JR奈良線の車窓から見ると良く手入れされているところと、放置されて「八幡の薮知らず」そのままに見えるところとあり、やはり後継者不足になっているのであろうと思われる。

奈良南部の大阪と県境を接するところに『葛城山』がある。少年時代の私には空を飛ぶ怪人と憧れた役行者の旧跡や、青葉繁れる楠木正成の千早城があるところだが、ここはヒミコと同時代の古跡を持つ地域であると共に「一目百万本」と言われるツツジの群棲地だそうである。しかし、吉野の桜ほどの歴史はない、というのも、昭和45年にこの辺り一帯の竹、山笹に一斉に花が咲き、そして一斉に枯れ果てたことに始まるからである。

驚く住民を慰めるように咲き出したのが山ツツジ。以来40年、力を合わせてブナの原生林や山頂の天神社の神域を整備しツツジを守っているという。『赤山 天に至る』と。

8、地名の読み方クイズ

(答えは次ページ)

お隣の班長さんと話した際「奈良には変わった読み方の地名があり、意味が通じなくあることがある」と教えて頂いたが、なるほど読めない漢字や読み方不明が多い。挙げれば切りもないが、眼に付いたものをいくつかクイズにします。読んでみてください。

- ①雑司町 ②杏町 ③高天町 ④京終町 ⑤畝傍山 ⑥甘櫛丘
⑦石上神社 ⑧平群谷 ⑨巻向(纏向)遺跡 ⑩御所市 ⑪庵治町 ⑫当麻寺

9、奈良の温泉

静岡には有名な温泉地が沢山ある。とりわけ伊豆は私にとって懐かしいところで、高校生時代には歩いて回り、金は無いから共同浴場に無料で入り、泊めてもらったりした。

静岡交響楽団の伊豆一周演奏旅行の時は、県立葵文庫の移動図書バスだったし、大学の補導教官に連れられての音楽武者修行も歩くことが多かった。それらを通じ何度も伊豆へ行きいろいろな温泉に入らせてもらった。

この奈良には温泉は無いだろうと持っていたら「天然温泉があちこちにあるよ」と息子が言う。地図で見るとなるほど「宝来」「三笠」「都祁=つげ」「高田」「十津川」などの温泉地があり、吉野地方にはさらに多く「津風呂」「下市」「吉野」「大塔」「湯盛」「宮滝」などが挙げられる。遠くはともかく、近場では？と探ると「薬師湯」「万葉湯」「お亀の湯」「あすか湯」「ゆうゆう苑」など、多分、一戸建ての温泉があり、さらには「老人福祉センター」「保健会館」「いきいきセンター」などの名称ながら天然温泉を湧出している所があることが判った。平群町の「かんぽの宿」も天然温泉だという。

歓楽温泉街や湯治温泉宿とは趣が異なるであろうが、自宅の内風呂で水や燃料を浪費するよりはこうした施設を活用させて頂くのもいいと思う。

若い頃、友人と入った風呂は「裸の付き合い」の原点だったし、教授の長風呂に付き合っでご高説を伺っているうちにのぼせて倒れそうになったこともある。

交響楽団の時は、夕食後に楽器を抱えて大広間へ行って、お客さんの要望を聞いて即興演奏を行った。今のようなカラオケはなく、ピアノどころかテレビさえもない田舎の温泉宿のこと、大喜びされたのはいうまでもない。図に乗ってその後の宿でも当然のように出演し、ラジオで聞き覚えたジャズを度胸試しに披露して技能の向上に繋げたものである。

10、災害地頑張れ！

静岡・安倍川花火は中止せず応援のエールを送る！と報じられた。そうだ！頑張れ！惨事を思い、追悼する気持ちは大切だが、「頑張れ！」の気持ちも大切だと思う。先日、宮城島さんは何も言わなかったが、清水のメガロフロートも福島へ送られたという。

クイズの答え

- ①雑司町=ぞうしまち・若草山一帯の町名。観光客も土産店も多い。三条小鍛冶等
- ②杏町=からももちょう・大安寺の西南、杏(あんず)を唐桃と読ませている。
- ③高天町=たかまちょう・近鉄奈良の所。高天ヶ原から来たものか？ 奈良県南部にも
- ④京終=きょうばて・京(都が)果てる(終わる)という意味か？今では街中の町である。
- ⑤畝傍山=うねびやま・飛鳥地方で有名な大和三山の一つ。標高199m
- ⑥甘檜丘=あまがしのおか・明日香の国見の丘。7世紀の日本史の舞台を見渡せる。
- ⑦石上神宮=いそがみじんぐう・天理の東、山の辺の道の起点。七支刀は貴重な国宝。
- ⑧平群谷=へぐりだに・生駒西山地と竜田川による地域。南端には聖徳太子の信貴山。
- ⑨巻向(纏向)遺跡=まきむくいせき・南部の桜井にあり、卑弥呼の墓か？と言われる。
- ⑩御所市=ごせし・大和盆地南西部の町。「ごしょ」とは読まない。葛城氏の本拠地。
- ⑪庵治町=おうじちょう・同じく南西部の町。庵を「おう」とは読めませんナ。
- ⑫当麻寺=たいまでら・蓮糸曼陀羅を一夜で編んだ中将姫の伝説で知られるお寺。